

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスHARU千里		
○保護者評価実施期間	2024年 9月 1日		2024年 9月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	2024年10月1日		2024年10月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されている	機能訓練担当職員筆頭に、各利用者に合わせて個別、集団のテーマを考えて作成している。	利用者本人、保護者様のニーズを更に把握をし、事業所で可能な活動の幅を広げていく。
2	利用する際に必要事項などをしっかり説明できている	伝える、話す内容の構成をし、その順番取りに書類を説明している	契約時などは書類が多くなるため、一つにまとめられる冊子を準備する
3	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	情報伝達に関しては、保護者様が連絡を受けやすい体制(LINEや電話等)を整えている。	今の情報伝達で問題が無いかな等、アンケートを取り、より良い環境整備を心掛ける。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等していない。	移行先の把握を具体的にできていないこと。	面談の際に今後の移行先について、保護者からヒアリングを行い、その事業所と連携を取っていく。
2	新1年生の児童を児童発達事業所より紹介してもらっているが、しっかり連携がとれていない	紹介児童の情報共有、周知できていない	・紹介時のみならず、定期的に連絡をとり情報共有をしていく ・紹介児童が利用に至った場合、児発での様子など詳しく聞き取りをする機会を設ける
3	家族に対する家族支援プログラム(ペアトレ)や家族も参加できる研修会など行っていない	家族支援プログラムの認識不足	事業所で家族支援プログラムなどの研修に参加、勉強会の機会を設ける